

人 輝く・安芸高田



議会だより

わかみやとうい

今回の題字は、**若宮冬依** くん（甲立小学校5年生）です。

安芸高田市少年健全育成野球大会
甲立多目的広場



9月定例会.....2~3

委員会審査報告.....4~14

一問一答
13人が**市政を問う**.....15~21

開かれた議会をめざして
シリーズ **議会改革**.....22

あんなこんな
地域のかがやき.....28

第35号

2012(平成24)年11月1日発行

可決

する条例
★向原町生涯学習センター建築工事

9月定例会

9月定例会を、9月10日～28日までを会期として開催しました。

一般会計を含む13会計の23年度決算が上程され、決算常任委員会へ付託し、本会議最終日において、13会計すべて賛成多数で認定しました。(決算常任委員会の審査は4～5ページに掲載)

一般会計補正予算ほか28議案(うち議員発議5件)、諮問1件を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。(予算常任委員会の審査は6～7ページに掲載)

一般質問では、13人が市政を問いました。(15～21ページに掲載)

認定第1号

23年度一般会計決算

■ 討論

■ 反対

熊高 公正で公平な執行が行われていない。

■ 賛成

宍戸 いずれの事業も適正である。

秋田 総体的に効果が出てきている。

山根 入札も法令遵守で行われている。

■ 採決

■ 賛成

前重、石飛、児玉、大下、水戸、先川、山根、宍戸、山本、前川、秋田、赤川、青原、金行、入本、今村、亀岡、塚本

■ 反対

熊高

認定第2号

23年度国保特別会計決算

■ 討論

■ 反対

熊高 本来の国保財政調整基金は、税収不足を補うものではない。

■ 賛成

宍戸 健全な財政運営を目指し、事業も適正に運営されている。

■ 採決

■ 賛成

前重、石飛、児玉、大下、水戸、先川、山根、宍戸、山本、前川、秋田、赤川、青原、金行、亀岡、塚本

■ 反対

熊高、入本、今村

議案第59号

私債権管理条例

■ 討論

■ 反対

熊高 債権放棄の具体的な基準が見えない。

■ 賛成

なし

■ 採決

■ 賛成

前重、石飛、児玉、大下、水戸、先川、山根、宍戸、山本、前川、秋田、赤川、青原、金行、入本、今村、亀岡、塚本

■ 反対

熊高

議案第65号

葬斎場設置管理条例

■ 討論

■ 反対

熊高 条例案は十分な内容である。

■ 賛成

秋田 条例案に不備はない。

■ 採決

■ 賛成

前重、石飛、児玉、大下、水戸、先川、山根、宍戸、山本、前川、秋田、赤川、青原、金行、入本、今村、亀岡、塚本

■ 反対

熊高

■ 諮問 (1件)

○人権擁護委員の推薦

天根 信子 さん
八千代町佐々井

大型事業

稼働に向けて一步前進！

★光ネットワーク設置及び管理に関する条例
★葬斎場設置及び管理に関する条例



(付議された案件)

- 認定第1号 平成23年度 安芸高田市一般会計決算の認定について
- 認定第2号 平成23年度 安芸高田市特別会計決算の認定について(11特別会計)

- 認定第13号 平成23年度 安芸高田市水道事業決算の認定について(公営企業会計)
- 議案第59号 安芸高田市の私債権の管理に関する条例
- 議案第60号 安芸高田市災害対策本部条例の一部を改正する条例
- 議案第61号 過疎地域自立促進計画の変更について
- 議案第62号 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について【土師ダム周辺整備事業】
- 議案第63号 工事請負契約の締結について【向原町生涯学習センター建築工事】
- 議案第64号 安芸高田市光ネットワーク設置及び管理に関する条例
- 議案第65号 安芸高田市葬斎場設置及び管理に関する条例
- 議案第66号 財産の無償貸付について【向原町新設保育所用地関係】
- 議案第67号 安芸高田市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例
- 議案第68号 字の区域の変更について【甲田町小原2期地区】
- 議案第69号 字の区域の変更について【甲田町深瀬地区】
- 議案第70号 市道の路線認定について【向原町梨之木宮之下線】
- 議案第71号 安芸高田市火災予防条例の一部を改正する条例
- 議案第72号 平成24年度 安芸高田市一般会計補正予算(第1号)
- 議案第73号 平成24年度 安芸高田市特別会計補正予算(各第1号)(9特別会計)
- 発議第1号 地方財政の充実・強化を求める意見書について
- 発議第2号 B型肝炎・C型肝炎患者の救済に関する意見書について
- 発議第3号 「教育予算を増額し、義務教育費国庫負担制度堅持」を求める意見書について
- 発議第4号 地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書について
- 発議第5号 安芸高田市議会委員会条例の一部を改正する条例

認定

歳入総額334億4611万円
歳出総額320億951万円

23年度決算



未来創造事業で取り組む神楽公演

決算常任委員会

9月10日の本会議において審査を付託された23年度一般会計・特別会計決算について、9月21日・24日の2日間委員会を開き、慎重に審査しました。

委員長 亀岡 等
副委員長 児玉史則
委員 議長・監査委員を除く全議員

委員長報告(抜粋)

23年度の決算規模は、一般会計・特別会計を合わせた総額で、歳入が334億4611万2千円で、前年対比6.9%の減、歳出が320億950万6千円で、前年対比7.7%の減となっている。

23年度決算の特徴として、普通会計の性質別歳出において、義務的経費が前

年度より6.5%増の48%、投資的経費が11.7%減の14.2%となっており、普通建設事業費の減少などが主な要因と考えられる。

審査の中で出された特徴的な質疑と答弁は次のとおり。

一般会計

総務部

Q 職員の人材育成として、民間企業等に派遣研修させているが、派遣終了後の職員配置に生かされていないのでは。

A 派遣研修において、民間派遣の場合では、経営感覚や営業活動を学び、公務員とは違った分野の能力を発揮できるように研修させている。そのため職員配置については、個々の能力、学んできた

ものを総合的に判断して行っており、今後も考慮しながら人選を行っていくことになる。

Q 職員の法制執行能力向上の取り組みと、今後どのくらいの人材を育成しようとしているのか。

A 広島県の法制執行関係の部署に、本年度1名の派遣者を含め、現在3名養成してきている。また、係長以上の職員も、指導者養成研修などにより、法制執務、政策形成部分の研修を受けさせて養成している。今後も引き続き条例改廃をチェックできる職員の養成をしていきたい。

企画振興部

Q 未来創造事業では、およそ3800万円の決算額となっているが、23年度実

施された事業費の大きな内訳は。

A ひろしま安芸高田神楽 東京公演の経費として約800万円を執行し、また、23年度から市内22神楽団による金曜夜神楽を含めた金・土・日曜日の定期公演を実施した。この定期公演の実施に際し、神楽門前湯治村 かむくら座の施設改修及び設備充実等を含め、約2000万円の業務を神楽門前湯治村へ委託し、実施した。

市民部

Q ゴミの資源化によるリサイクル補助金について、20年度に250万円だったものが、23年度では800万円くらいとなっているが、この効果はどのくらい出ているのか。

A ゴミの資源化は、20年度に比べ3

倍強の回収量となり、各地区で資源化は進んでいるが、それが直接 芸北きれいセンターでの可燃ゴミの減少につながっていない。このことについては、市の北部地域で自家焼却されていたものが、きれいなセンターの回収に回ったことにより増加につながっている実態があり、減少とまらない要因となっている。

■福祉保健部
Q 生活保護対象となる世帯の調査体制はどのようになっているのか。
A 新規の申請があれば、ケースワーカーが担当地区ごと

に出向き、本人、扶養義務者等から直接話を聞き、査察指導員、課長、最終的に福祉事務所長が審査し、保護の認定または却下の決定を行う。保護認定の後

は、担当ケースワーカーが、保護対象世帯を、その世帯の状況によって5段階にわけ、1ヶ月に1回から、1年に1回までの訪問調査を行う。その際、査察指導員も同行し、直接聞き取りを行う場合もある。

Q 老人クラブ連合会助成事業について、単位クラブ数、会員数ともに減少している中で、補助金交付額が上がっているのはどういった要因があるのか。
A 老人クラブから「高齢者の見守り活動を、市老人クラブ連合会として取り組

みを行いたい」との要望があったため、予算付けを行い増額したものである。

■産業振興部
Q 地域産業ブランド化推進事業の「あきたかたのたから」は、認証品目が増えた感があるが、この認証基準と効果、販売量等の状況はどうか。
A 23年度は特に食品等の認証が多く、特産品としてのバリエーションが広がったと考えている。認証の基準は、認証委員会

で、市の特徴を持ったもの、ユニークなもの、環境にやさしいものなどについて採点され、その合計得点によって認証がなされる。昨年度は「あきたかたのおたからセット」が全体で1100セット販売され、約330万円の売り上げがあった。

た。着実にブランドの認識がされている。

■教育委員会
Q 学習補助員・非常勤講師配置事業について、児童・生徒の立場で考えると、どのような成果があり、これをどのように考えられているのか。
A 児童へのアンケート結果では「勉強がよくわかる」「好きになった」といった肯定的な回答が寄せられ、子ども達の学習意欲の喚起や基礎学力の定着といったところで効果が見られたと考えている。

■特別会計
Q 23年度の要介護認定申請のうち、新規申請の占める件数は何件あるのか。
A 安芸高田市にお



取り組みが進むリサイクル活動

ける要介護認定申請は、月に約300件あり、このうち新規申請は、月によって変動があるものの、平均すると約60件となっている。

険特別会計決算において「反対」の討論がなされました。

以上の審査の後、討論を行う中で、一般会計決算において、「賛成」、「反対」の討論がそれぞれなされ、また、特別会計では、国民健康保

採決にあたっては、付託された13件の認定議案について、いずれも予算の執行及び財務に関する事務処理は適正に行われていると判断され、すべて認定すべきものと決定いたしました。

設置など 9304万円追加 236億3704万円

可決



プレスルーム設置予定地

予算常任委員会

9月10日の本会議において審査を付託された24年度一般会計・特別会計補正予算について、9月11日に委員会を開き、慎重に審査しました。

委員長 赤川三郎
副委員長 水戸眞悟
委員 議長を除く全議員

一般会計

総務部

水戸 美土里支所周辺施設の浄化槽整備の内容は。

沖野総務部長

内科医院、歯科医院、消防施設それぞれ個別に整備する。

前重 防犯灯LED化はこの補正予算で全域完了か。

行森危機管理室長

今年度で100%完了。申請漏れ、新規申請には対応する。

熊高 たかみや湯の森基金繰り入れは、また高宮支所改修費は。

沖野総務部長 家族風呂修繕に600万円程度必要。元高宮町役場を解体し、民具資料を高宮支所2階へ移転する。

入本 地方交付税8000万円の減額は。

西岡行政経営課長 普通交付税の代替財源である臨時財政対策債への振替額の増と調整率による減額が主な要因である。

企画振興部

秋田 臨時職員採用の事務内容と人員は。

青原・前重・山根

受付事務等は委託業者で処理できないか。

竹本企画振興部長

通常の職員体制で



ちびっこ消防に備品整備を

広瀬情報政策課長

お太助フォンの受付事務、申込者のシステム入力作業等で2名予定している。

は無理が生じる。受付業務は業者委託業務となっていない。

児玉 クラウドシステム化による経費削減効果は。

広瀬情報政策課長 削減効果額は、年間780万円程度を見込む。

24年度補正予算

サッカー公園プレスルーム 一般会計総額

■消防本部
入本 市内幼年消防
に対する備品整備は、
久保消防長

市内幼稚園保育所
の内8箇所整備済
み、残り7箇所を予
定している。

■市民部
熊高・水戸 再生可
能エネルギー調査費
の組み換えと現況は、
新川市民部長

単独市費で計上し
ていたが経済産業省
の補助事業を申請し
ている。国の省内手
続きの関係でいまだ
採択通知が遅れてい
る。

■福祉保健部
入本・熊高 健康づ
くり事業の43万3千
円は、

中元保健医療課長
健康ウォーキング
参加者に入湯券を配
布するもの。医療費
軽減の観点から健康

づくりの動機付けを
図る。

熊高 保健師の効果
的な配置は。
武岡福祉保健部長

本庁に重点配置し
ている。支所業務に
鑑みて非常勤の保健
推進員を支所に配置
している。

■産業振興部
秋田 鳥獣被害防止
交付金の減額は、

猪掛地域営農課長
県費事業に移行し
て対処したため。

前川 集落営農支援
事業費の増額は、

猪掛地域営農課長
申請件数が当初計
上件数を上回ったこ
とによる増額。

**青原 集落で取り組
む獣害対策事業の対
象地区は、**

猪掛地域営農課長
県の新規事業でモ

デルとして高宮町茂
谷地区を対象とする
もの。

**山本・水戸 有害鳥
獣の死骸処理業務費
の増額は、**

猪掛地域営農課長

イノシシ、シカの
大動物は1万5千
円、タヌキ等の小動
物は1万円処理業
務委託しているが、
すでに昨年の処理件
数を上回っている。

■建設部

**青原 支障木等伐採
業務費は工事請負費
に含まれるか、**

西原建設課長
支障木等伐採業務
費は工事請負費に含
まれていない。当初
計上額より増額と
なったもの。

■教育委員会

**山根 保健体育費の
プレスルーム設置は、**
松村文化・スポーツ



伐採予定の支障木

振興室長

サッカー情報のみ
ならず安芸高田市の
総合的な情報の発信
施設としてプレハブ
造りでサッカー公園
に設置する。

**水戸 解体撤去費の
対象施設は、**
沖野教育次長

北生公民館と隣接
する北生診療所の解
体撤去費も含んでい
る。

**今村 博物館運営事
業費は、**

松野生涯学習課長
「毛利元就と女性
たち」の企画展のた
めの輸送に関する経
費。

**熊高 少年自然の家
の地下タンク工事請
負費は、**

松野生涯学習課長
老朽化した地下タ
ンク4000ℓを地上
タンク1800ℓ
に設備移行するもの。

総務企画常任委員会

9月定例会で付託された議案3件、所管事務調査2件を、9月18日に委員会を開き慎重に審査し、すべて原案のとおり採択しました。

(主な審査)

○安芸高田市の私債権の管理に関する条例

○辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更

○安芸高田市光ネットワーク設置及び管理に関する条例

- 委員長 秋田雅朝
- 副委員長 先川和幸
- 委員 前重昌敬
- 山本 優
- 赤川三郎
- 今村義照
- 藤井昌之

安芸高田市の私債権の管理に関する条例

趣 旨

台帳整備や督促時期などの債権管理手続きについて、全庁的な手続きの明確化・統一化を図る。将来にわたり徴収できない債権であっても、長期間、保有せざる得ない状況にあり、これらの債権放棄を適切に進めるため債権放棄できる規定を明らかにする。

質 疑

藤井 条例制定によつて、住所、氏名は公表しないということでのよろしいか。
 沖野総務部長 現在はどのように考えている。

前重 条例制定後の滞納整理の取り組み・計画はどのよう
 に考えられるか。
 新川市民部長 使用

料などの私債権については、債権額が膨らまないように、徴収のための費用対効果を含め総合的に判断し、必要に応じて債権放棄をしていきたい。

＜私債権の現状＞
 【住宅新築資金貸付金】
 3億4900万円
 【市営住宅使用料】
 900万円
 ＜債権の放棄＞
 債権額100万円以下で、その他要件に限定してできる。

安芸高田市光ネットワーク設置及び管理に関する条例

趣 旨

光ファイバケーブルを利用した情報通信基盤を構築し、行政情報等を広く市民に伝えるとともに、高度情報化社会に適応したまちづくりを推進することを目的として、必要な事項を定める。

質 疑

先川 センター設備、伝送設備、引込設備となつているが、これは物品ではなく機械的扱いでは。
 広瀬情報政策課長

平成16年総務省が「地方公共団体が整備・保有する光ファイバ網の電気通信事業者への開放に関する標準手続き」というガイドラインの中で、光ファイバケーブルや機器そのものに着目した場合は物品と分類している。

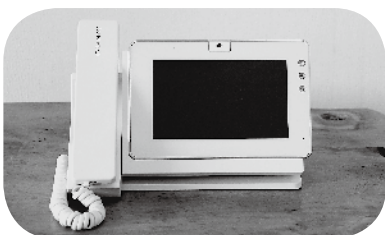
前重 光ネットワーク、光ファイバの横文字の文言が、市民に理解できるか。
 竹本企画振興部長

市民にとつてどちらがわかりやすいのかを考えたとき、通信技術という文言より、こちらの方がわかりやすいと判断し

ている。

今村 お太助フォン等の利用料における明文化は。
 広瀬情報政策課長

国の法律では、基本的には市が施設を提供して、電気通信事業者がサービスを行うことになつているため、料金決定については、条文化することは適当でないとされている。市と電気通信事業者とIRU契約を結ぶその中で金額を明文化し、市民へも広報等でお知らせしていきたい。



設置予定のお太助フォン

先進地視察

とおのし おうしゅうし
遠野市・奥州市 (岩手県)

8月8日～10日

視察地	視察テーマ	特徴
<p>《地域でのICT (情報化通信技術)の 利活用法》</p> <p>岩手県 遠野市 人口：29,746人 世帯数：10,705世帯 面積：825.62km²</p>	<p>◇ICTに係るシステムの整備構想等</p> <p>◇遠野市型健康増進ネットワークシステムの利用状況</p> <p>◇事業効果</p> <p>◇今後の事業展開</p>	<p>◇遠野市の中心部はNTTの光フレットが通っており、その後ケーブルテレビの光回線を利用して市全域を繋ぎ、NTTの制作したテレビ電話とデータ管理システムを利用できるようにして運営している。</p> <p>◇参加者の3割程度に高血圧症の改善効果がみられた。</p>
<p>《定住の取り組み (空き家バンク)》</p> <p>岩手県 奥州市 人口：124,605人 世帯数：43,496世帯 面積：993.35km²</p>	<p>◇空き家バンク制度の運営方法、空き家の登録等は</p> <p>◇入居者の要望・苦情等はどのようなことが</p> <p>◇貸し手と売手手の要望の差の調整は</p> <p>◇入居者の地域との交流の施策とその状況は</p>	<p>◇空き家調査、情報提供依頼等を実施し、所有者に登録意思の確認を行い物件を登録。ホームページで紹介し、問合せがあれば現地紹介。現地紹介は市で行い、契約等は専門家である宅建業者に仲介を依頼。主として非常勤職員である移住支援員が照会の受付、現地案内を受け持っている。</p>

安芸高田市	市への提言	
<p>人口：30,991人</p> <p>世帯数：13,235世帯 (平成24年9月末)</p> <p>面積：537.79km²</p>	<p>《地域でのICTの利活用法》</p> <p>◇今後の整備において活用できる国の事業メニューや、事業者からのソフト情報提供など役立つ情報の早期入手に努め、役立てることで事業の費用対効果を上げていくべきである。</p> <p>◇遠野市では保健事業等に役立っているICTを今後どのように活用するのかのソフト部分を、早期に具体的な方向性・内容を掲示する必要がある。</p>	<p>《定住の取り組み(空き家バンク)》</p> <p>◇安芸高田市においても空き家の登録・紹介を専門とする支援員の設置等ができないか検討するべきである。</p> <p>◇空き家で借りる際、家に残る所有者の荷物の片づけ費用に対する助成制度等を設けるなどの定住促進施策を検討するべきである。</p>

文教厚生常任委員会

9月定例会で付託された案件はなく、送付された要望1件、陳情1件を9月19日に委員会を開き慎重に審査しました。

(審査した要望等)

○B型肝炎・C型肝炎患者の救済に関する意見書採択の要望

○教育予算を増額し、義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書提出に関する陳情

委員長 青原敏治
副委員長 穴戸邦夫
委員 児玉史則
委員 水戸眞悟

委員 山根温子
委員 金行哲昭
委員 塚本近

要望

◎B型肝炎・C型肝炎患者の救済に関する意見書採択の請願

要望者 すべての肝炎患者の救済を求める広島の会

趣旨 大多数の患者・遺族は何の救済・補償もなく高い医療費負担や治療に苦しみ、毎日平均約120人が亡くなっている。国が被害を償い、感染者が安心して治療を受けられるよう治療と生活を支える公的支援制度を確立すること。

陳情

◎教育予算を増額し、義務教育費国庫負担制度堅持を求める意見書提出に関する陳情

要望者 広島県教職員組合ひろしま地区支部

趣旨 1. 教育の自治体間格差を生じさせないために義務教育費国庫負担制度について国庫負担率を2分の1に復元することを含め、制度を堅持すること。
2. 学校施設整備費、就学援助・奨学金、学校・通学路の安全対策など、教育予算の充実のため、地方交付税を含む国の予算を拡充すること。

上記の2件の要望・陳情は、委員会で採択し、諸手続きを経てそれぞれ関係機関（国）に意見書の提出をすることとしました。



求められる教育予算の充実

先進地視察

あやがわちよう 綾川町 (香川県)、 みまし かみかつちよう 美馬市・上勝町 (徳島県)

8月8日～10日

研修内容

綾川町 (香川県) [廃校の利活用に関する取り組み状況]

○概要

小学校跡地の利活用について、一般公募でNPO法人「かがわ・ものづくり学校」が「四国ものづくり学校」として画家、陶芸家、彫刻家、写真家、建築家など多彩な

分野の協力のもと社会教育活動や特産品開発など可能性を探っている。

■まとめ

利用目的のない教室も多く、全体の継続した維持管理が困難と思われる。

研修内容

美馬市 (徳島県) [ICT (情報通信技術) を活用した高齢者福祉サービス等]

○概要

①見守りシステム (65歳以上の一人暮らしに対応)

玄関、居間、寝室などに安否センサーを設置し、人の動きを感知し、一定時間以上動きを感知しなければ、コールセンターに通報される。

②健康管理システム

家庭で体重、血圧などを測定し、データ

を自動取得してグラフ化し、日々の健康管理に役立てる。

■まとめ

「健康への意識や行動に変化があった。」
「データを確認することが日課になった。」
「食事の量や質が体の変化でわかるようになった。」など好評を得ている。また双方向の会話による健康管理支援は高く評価できる。

研修内容

上勝町 (徳島県) [高齢者の見守り事業・福祉産業、リサイクルの取り組み]

○概要

①高齢者の安全安心見守り事業

・緊急 (ペンダント) 通報サービス

本人がペンダントのボタンを押すとあらかじめ登録している3人の協力員に通報される。

・安否サービス

宅内3箇所に安否センサーを設置。動きがないときは登録先の親族へ通報され、安否の確認をする。離れて暮らす親族が携帯電話などで検知情報の閲覧も可能。

②高齢者福祉産業「彩 (いろどり) 事業」

インターネットで市場情報を的確につか

み、出荷取り扱いの木の葉 (つまもの) などは300種を超す。年間の売り上げは2億円以上。

③ごみゼロの町「ゼロ・ウェイスト宣言」

リサイクルなどでごみにならない仕組みやものづくりを求めることで、ごみを限りなくゼロに近づける取り組み。

■まとめ

高齢者の安否確認は、親族の責任で行うシステム。彩 (いろどり) 事業は、女性や高齢者が主体。「つまもの」の多くは裏山からの採取で投資的経費は軽微。またごみはすべて個人持ち込みで、町はごみ収集運搬車の導入はしていない。

今回の視察で学んだことを、市の発展のため参考にしたい。

産業建設常任委員会

9月定例会で付託された案件はなく送付された要望1件を、9月20日に委員会を開き慎重に審査しました。

(審査した要望書)

○地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書の採択について

委員長 前川正昭
副委員長 石飛慶久
委員 熊高昌三
大下正幸
入本和男
亀岡 等

要望

◎地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書の採択について

要望者 全国森林環境税創設促進議員連盟

- 要旨
1. 「全国森林環境税」を創設すること。
 2. 地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求めること。

【審査の経過】

地球温暖化防止をより確実にするためには、森林保全整備など森林 CO2 吸収源対策や再生可能エネルギーの活用等の取り組みを、山村地域の市町村が主体的に・総合的に実施することが不可欠です。本市としても、この事業に取り組むための恒久的・安定的な財源として、「地球温暖化対策のための税」の一定割合を、森林面積に応じて譲与する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求めるところです。よって、要望を採択し、諸手続きを経てそれぞれ関係機関（国）に意見書の提出をすることとしました。



先進地視察

ゆすはらちよう

梶原町・いの町

(高知県)、^{かみやまちよう} 神山町 (徳島県)

7月3日～5日

	視察地	視察テーマ	特徴
高知県	梶原町／町環境整備課 総人口：3,812人 主産業：農林業 位置：四万十川の源流 面積：236.51㎦ (森林率91%)	☆木質バイオマス等を活用した『環境モデル都市』に関する取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・不要公課村構想（明治） ・鎮守の森づくり条例（平成7年） ・森林づくり基本条例 ・森林認証FSCの取得 ・製材所・森林組合の役割の明確化 ・矢崎総業との連携 ・町民の理念又は行政への関心度が高い ・積極的な町産材の使用
	いの町／NPO法人 土佐の森・救援隊 総人口：25,750人 面積：470.71㎦	☆森林保全整備を目的としたNPO法人土佐の森・救援隊の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・2005年「環境先進企業との協働の森づくり事業」の一環としてスタート ・小規模林業の活性化 ・間伐森林整備の対価地域通貨の配布 ・副業型の自伐林家の養成 ・需要が無垢材から集成材へ ・切り捨て班から素材生産班への転換
徳島県	神山町／特定非営利活動法人 グリーンバレー [徳島市を中心に11市町村定住自立圏形成協定を締結] 総人口：6,337人 面積：173.31㎦	☆空き家を活用した「サテライトオフィス」の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・過疎の自覚と未来ビジョンの明確化 ・「せかいのかみやま」づくり ・人との繋がりによる移住交流支援事業（住民主導型の事業推進） ・出身者や縁故者の協力 ・商店街再生プロジェクト「空家町屋」（東京藝術大学建築科研究室との連携） ・2011年に社会動態の増に転ずる ・起業家や若者世帯の移住 ・住宅の確保・働く場（仕事）づくり
安芸高田市	総人口：30,991人（平成24年9月末） 農家数：4,032世帯 林家数：3,859世帯 (2010年農林業センサス)	[まとめ] 先進的な取り組みをされている自治体には、キーパーソンの存在もあるが、地域の特性を明確に見極める地元住民の意識と協力が非常に大切である。現在のところ、地域リーダーと地域全体が本気で取り組まれているが、自治体の補助金等の金銭的支援は永続的なものでなく、起業した事業が、成功して自立出来る事が重要である。	

議長へ『^{もり}森林づくり基本条例』の制定の申し入れを要請

《趣旨》

市域面積の8割を森林面積が占める本市において、林業は、長期計画に基づく地域経済の活性化と自然環境保全の面で必要な事業です。国・県と連携し、率先的に本市自ら市民と自然が共生できる循環型社会を目指す必要があります。よって、林業施策において自然環境保全整備と地域経済の活性化を目指し、森林組合・木材製材所・森林所有者・自伐林家など森林振興関係者全般を網羅した『森林づくり基本条例』の制定を市長に申し入れの要望を研修報告と共に議長へ提出した。

葬斎場建設調査
特別委員会

9月定例会で付託された議案1件を、9月14日に委員会を開き慎重に審査し、原案のとおり採択しました。

(主な審査)

○安芸高田市葬斎場設置及び管理に関する条例

- 委員長 赤川三郎
- 副委員長 秋田雅朝
- 委員 議長を除く全議員

平成25年4月1日供用開始に向けて 葬斎場設置及び管理に関する条例

■概要

現在建設中の葬斎場について、使用時間や使用料金等を新たに定めるもの。
また、管理を「指定管理者」に行わせることができることとしている。

■質疑

先川 区分表にない部屋の使用方法は。使用料金、使用時間を定めるべきでは。
中村市民生活課長 共用部分のため、使用料はいただかない。

前重 使用料減免は。
中村市民生活課長 行路人、身元のわからない方が想定される。

水戸 動物炉で火葬できる小動物とは。

■中村市民生活課長

いわゆるペットを想定しているが、炉の大きさもあるので、サイズ等は規則で詳細に定める。

児玉 市民サービスは向上するが、公費の投入が増えるということをきちんと市民へ説明すべきでは。
新川市民部長 こういった施設は、市民の福祉の向上のためある程度の公費負担はやむを得ないと考えるが、サービスの内容について市民へ説明して参りたい。

山根 霊きゆう車を
使用されない場合もある
ので、料金を別に設定するべきでは。
竹本企画振興部長

本市は、中山間地域で民間の霊きゆう車台数も少ないため、葬儀場所から火葬場までの片道の霊

きゆう車(ワゴン式)の運行は、市の福祉サービスとして行う。

石飛 利用にあたってトラブルがないようにするためには。
中村市民生活課長

利用者の立場に立った運営を第一に考えていく。

熊高 指定管理者を募集するときのチェック項目など重点項目は。
新川市民部長 これまでの火葬場の運営実績を重視する。

水戸 葬斎場の愛称募集は。
中村市民生活課長 準備ができ次第、募集させていただきます。

今村 今後の市民への利用方法等の周知は。
中村市民生活課長 広報紙等での説明

【葬斎場の主な使用料】(市内料金)

火葬料	12歳以上	25,000円
式場等	葬儀	30,000円
	通夜	30,000円
待合室	2時間以内	5,000円
動物炉	小動物(一体)	3,000円

のほか、各戸へ「利用のしかた」を配布し、周知する。



竣工に向け急ピッチ

13人が 一問一答 市政を問う



今村 義照
(あきの会)

今村 今のシステムの中で、コストの追求、内部統制的チェック機能、住民意識の情報を得る能力が課題だと考えるが。

市長 行政上の費用対効果の尺度は難しい点ではあるが、コスト評価を行い、事業効果を高めたい。チェック機能は、計画や主要事業の見直しを行い、時点修正と市民ニーズに沿った執行をと考えている。

今村 行政評価による今後の事業のあり方は。

市長 今後について、「目標設定と評価」は評価シートで、

行政評価システム

今後どう市政に活かすのか

市長／一応は確立、より充実に向けて

「事業の進捗管理」は進捗管理表により政策形成へつなげ、「目標管理型行政経営システム」の充実と市民にわかりやすい情報公開を実施していきたい。



求められる行政評価システム

防災

自主防災組織への支援策は

市長／ソフト面の支援に力を注ぐ



宍戸 邦夫 (無所属)

制度を継続するとともに、防災意識啓発、防災研修、地域の防災リーダーの育成などソフト面の支援に

宍戸 国保財政安定化に向けた今後の取り組みは。
市長 「国保財政安定化計画」をもとに、レセプト点検の強化やジェネリックの使用推進、各種検診や保健指導等に取り組みむ。

宍戸 各地域で自主防災組織が設立され、防災訓練等が行われているが今後の支援策は。
市長 補助金の交付



活発化する自主防災活動

力を注いでいく。

宍戸 災害防止対策のための農業用水路など整備するにあたって特別な助成制度の創設はできないか。
市長 実態を把握し、その状況を見ながら、ケース・バイ・ケースで対応したい。

県道吉田邑南線改築促進は

市長／愛称を「陰陽神楽街道」と命名し整備促進

県道改良



水戸 眞悟 (絆)

水戸 空港アクセス道路と連結し、本市の基軸ラインである県道吉田邑南線は、陰陽連絡道として重要路線であり、中国自動車道高田ICにも連絡している。本市の観光行政を始め

とし、役割は重要であるが、改築促進について伺う。
市長 広島空港を結ぶフライト軸として重要な幹線道路と認識する。吉田邑南線改築促進期成同盟会総会で愛称を「陰陽神楽街道」とすることが確認された。歩道など安全施設改善も含め改築促進を働きかける。



県道吉田邑南線 島根県境付近

- その他の質問**
- 平成25年度予算編成方針
 - 葬斎場進入路付近及び通学路安全対策
 - 林道小谷亀谷線開設進捗状況
 - 美土里支所周辺整備進捗状況
 - 北生公民館、同診療所、給食センターの処理方針

金行 市民からの光ネットワーク整備の活用に関する質問については、返さなくてはいけないが、光ネットワークは福祉、医療サービス、教育、企業誘致の利活用等必要と考えるが。

市長 各説明会場で、即答できなかつた質問は、内容を確認し市民に回答する。またインターネットの活用により企業誘致による雇用、



金行 哲昭
(政友会)

光ネットワーク

福祉、医療、教育、企業誘致に

市長／地域サービスの向上を図る

地域サービスの向上を図る。

金行 国民健康保険については、市民にもっと説得が必要と考えるが。

市長 毎月発行の広報あきたかた等で



工事が進む光ネット網

っているが、これからもっと広報をしていく。

金行 学校統合について、もっと説明が必要と考えるが。
教育長 昨年度、全小学校、地域振興会で説明してきたが、もっと各地域、学区へ十分把握していただけるよう説明していきたい。

行政無線の今後の取り扱い

防災対策

市長／完成後は速やかに廃止



先川 和幸
(無所属)

先川 ハザードマップに表示されている避難場所（57箇所）の見直し作業は。

市長 東日本大震災の教訓を基に、地域住民の意見も伺いながら、今年度中には方向性を出す。



存続要望のある防災行政無線

先川 既設の防災行政無線（向原町13箇所、八千代町7箇所）の今後の取り扱いは。

市長 現在施工中のお太助フォン完成後には速やかに廃止する方針であるが、その対応にあたっては慎重に進めたい。

先川 防災上のお太助フォンの最大の欠点は停電時の機能不全と外部への情報伝達不能であるが、全市に防災無線を整備するとしたらその費用は。

竹本企画振興部長 現時点で詳しい見積りは出来ていないが、約23～24億かかると思う。

管理・運営は

グラウンドゴルフ

市長／指定管理制度で



青原 敏治 (あきの会)

青原 グラウンドゴルフ場の受付場所については、多くの利用者より現地近くで行ってほしいという声を聞くが。

「はじめ丸館」で行っている。リニューアル後も引き続き「はじめ丸館」で行うよう予定しており、今後、実態や状況を見ながら考えていきたい。

青原 グラウンドゴルフ場の管理運営については、民間活力を活用することにより、いろいろなことが展開できるのでは。



グラウンドゴルフを楽しむ人たち



石飛 慶久 (無所属)

石飛 合併特例債と過疎債の有効利用の必要性は。市長 有利な起債とはいえ借金。財政状況など踏まえ有効に利用したい。本市が優位に展開する方向で考え、成すべき事を真剣に議論しやっていきたい。

石飛 合併特例債と過疎債の最終起債期限における新たな事業計画は。市長 新たな措置が講じられた今、現在の実施計画を中心に、新たな計画は、協議・検討していく必要がある。

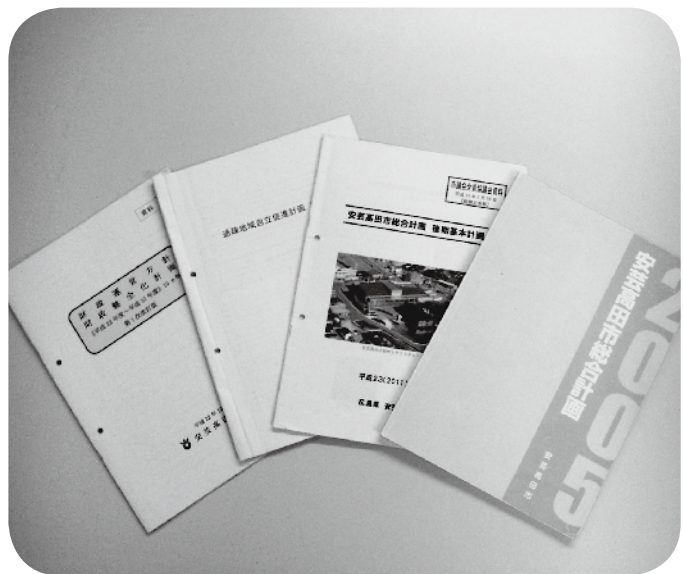
まちづくり

新たな総合計画は

市長／新しい観点に立ち方向性を定めたい

石飛 現在の総合計画を、より実効性のあるものにするために、計画を見直す大切な時期では。市長 現在進める事業を有効的にするた

めにも体制を締め直し、健全な財政運営に努め、新たな観点到り立って方向性を定めていきたい。



注目される次期総合計画

大下 危険箇所129箇所の今後の対応は。
教育長 子ども達の安全安心な通学路の確保に向け、関係機関と連携し最大限危険箇所への改善に取り組む。



大下 正幸
 (あきの会)

安全・安心

通学路の安全点検の結果は

教育長／最大限危険箇所の改善に取り組む

大下 吉田邑南線の道路改良について、現在建設中の葬斎場付近の連続する急カーブの改善改良の計画は。
市長 見通しをよくするため、高木の伐採により視界の確保と日照改善を行う。

市長 全体を見ながら順位を決め、実現となるような対策をとる。



通学路の改善策は

大下 まちづくりや子育て支援対策など施策段階での審議会や策定委員会へ若者世代の参画が必要では。
市長 若者との距離を短くして行政や地域に参加するよう対策を講じていく。

大下 まちづくりや子育て支援対策など施策段階での審議会や策定委員会へ若者世代の参画が必要では。

その他の質問
 ○いじめ、不登校について

山本 自然エネルギーの活用で調査研究事業が計画されているが、現状は。
市長 経済産業省の支援を受ける予定であったが、申請の採択が大幅に遅れており国の動向を見ながら進めていきたい。

市長 真に望まれる情報を迅速、正確にわかりやすく伝え、情報もいただきながら、親しまれ信頼されるコンテンツの構築を図っていききたい。

山本 光通信整備は、順調に工事、説明会、申し込み受付等進められているが、お太助フォンによる情報提供の内容は。
市長 真に望まれる情報を迅速、正確にわかりやすく伝え、情報もいただきながら、親しまれ信頼されるコンテンツの構築を図っていききたい。



山本 優
 (絆)



蓄積される再生可能エネルギー

自然エネルギー

活用と調査研究は

市長／国の動向を見ながら進める

山本 人口比で85%の水道整備はされているが、未整備地区での水源確保対策への補助は。
市長 井戸ボーリング掘削など50%の補助（最高70万円）で対応し、その他は実態をふまえ検討する。

財政健全化

受益者負担の適正化は

市長／理解を得られる手法を考えていく



児玉 史則 (絆)

のくらの税金が投入されているのか、所要コスト、税金の投入額、利用者数等情報提供する必要が
あると思うが。

市長 同感であり、

職員も認識していると思う。御指摘の観点から行政運営を行っていく。

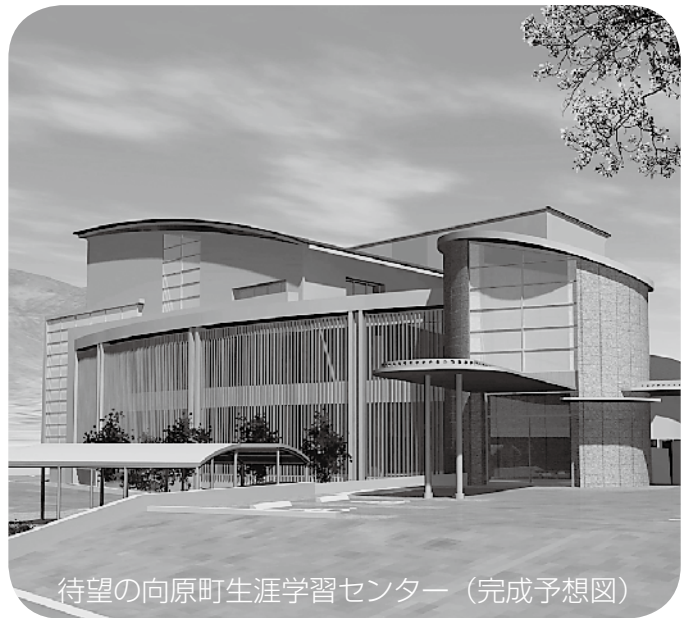
児玉 市民総ヘルパ―構想は、二世世代、三世代同居が基本と考えるが。

市長 同居や定住につながるよう一つのテーマとして取り組む。

児玉 あらゆる料金設定は、住民サービスと言いつつ、不足分は税金で補っている。オープンな形で受益者負担割合を議論することが必要では。

市長 議論が足りないのも確かである。本来、かかる料金を明確にし、議論していくことが、これからの課題だと思う。

児玉 我々が受けているサービスに、ど



待望の向原町生涯学習センター (完成予想図)

保健師の地域配置は

市長／一つの方策として検討

自治の再生



山根 温子 (無所属)

山根 自治再生を図る市民総ヘルパー構想の展開において、日々の地域保健活動における「きづき」を、共助・公助につなぐための保健師の地域配置は。

市長 支所機能の充



支所機能の充実、行政の保健活動が鍵！

実、職員の配置がえも一つの方策。自助を求めるばかりでなく、共助・公助でしっかりフォローしていきたい。

山根 県が進めるブラチナ世代や住民の力を活かす仕組みづくりは。

市長 これから県の協議会との連携を図る。

山根 各種行事の実施は、地域との連携合同開催など、集まりやすい環境設定の努力を。

市長 日程調整や各種イベントの統括など注意を払っていく。

熊高 民間賃貸住宅の供給過多が将来、課題とならないか。
市長 民間賃貸住宅人の入居を支援するため商工会や工業会を通じ情報を伝える。

熊高 法令遵守され、安心できる人事管理が行われているか。
市長・副市長 コンプライアンスは、十分ではないが環境を促しながら実施している。



熊高 昌三
(無所属)

自主財源対策

6次産業の充実

市長／県の支援事業で対応

熊高 市の自主財源額は平成19年の50億円に対し、平成23年はその89%に下降。対策の一つとして6次産業化を推進している。
市長 農家所得は、平成22年は50万円、

平成12年対比で上昇。農産物販売高は平成23年度32億2千万円、平成14年対比で下降。6次産業化は県の事業で支援。後継者育成が課題。

熊高 学校教育が形式的あるいは、マニュアル的になっていないか。
教育長 「ふるさと教育」を通じ、自信と誇りを持たせる。

みんなて育てるわがまち自慢



あきたかたのおたからセット

入本 54号線に「道の駅」を設置することで、特産品の販売と産業の育成、また観光協会設置により、市内の交流人口の増大につながると思うが。
市長 道路整備によ



入本 和男
(あきの会)

道の駅

54号線に設置を

市長／国土交通省に強く要望

入本 行政嘱託員業務を振興会に委託してその報酬を地域のまちづくりの基金に。
市長 ネットワークの整備に伴い、行政情報の伝達手段が進化するので、課題

り、交通量が増加し地域振興の観点から重要な施設であり、強く国土交通省へ要望を続ける。

入本 地域のリーダーで地域に活力が出る「地域づくりリーダー養成塾」を。
市長 各地域振興会の役員が課題や資源活用を図るため、様々な活動を展開されており、「地域づくりリーダー養成塾」は検討する。

を議論し前向きに考える。



地域振興会主催「感謝のつどい」

シリーズ7（最終）

研修報告 7月9日～10日

本市に必要な議会改革とは！

いばらし 井原市（岡山県）、あさごし 朝来市（兵庫県）

議会改革特別委員会
 委員長 山根温子
 副委員長 先川和幸
 委員 石飛慶久
 児玉史則

内容	井原市議会	朝来市議会
議会基本条例 政治倫理条例 について	アドバイス ○条例制定が目標でない ○議会運営の後ろ盾となる ○市民参画（市民と共に） ○執行部との連携と協議 ○市民への説明責任（信頼関係）	特徴 【議会と市長等の関係において】 ○議会の資料要求権の明確化 ○重要議案の過程資料要求 【議会の機能強化】 ○議員間討議（委員会の意見交換）
議会の活性化 について	議長・副議長選挙立候補制度の導入 市民の声を聴く会の開催 広聴広報委員会の設置 議会への提案箱の設置	【これからの議会改革】 ○専門的知識法制執務の研修 ○議会内部の改革 ○市民との対話 ○多様な民意への対応
まとめ	両市ともに、県下初の議会基本条例の制定の目標を持ち、全国レベルの学識経験者との連携により進められた。政治倫理条例は、制定以前にあった政治倫理規程や先進地の条例を参考に、時代に対応した条例を制定された。 議会の活性化においては、事務局負担の軽減を図り、見やすいわかりやすい議会報告会の運営を議員が主体的に行う。また、議員間の討議を制度化し、斬新的で議会運営上の課題はあるものの、会派による活発な政策研究を推進されている。「型にはまらず、議会にとって何が必要なのかを考えて議会として動いていく」との言葉が大変新鮮に聞こえた。	

市議会議員の政治倫理規程を制定

安芸高田市では、議員の政治倫理向上をより一層図り、市民に信頼される議会づくりを進めるため、安芸高田市議会議員政治倫理規程を制定しました。

規程には、市民全体の奉仕者としての責務をはじめ、政治倫理基準、議員の兼業禁止、さらには、審査請求に基づく審査会設置等が明記されています。

この規程の全文は、市ホームページに掲載されます。

24年度 議会報告会

「意見交換会」での主な意見や質問

吉田地区

- ・とき 7月23日（月）午後7時～8時30分
- ・会場 安芸高田市中央保健センター
- ・参加者 21人

Q1 国民健康保険については、いろいろと議論されたと思うが、内容は。

A1 委員会で審議をし、なぜ3年間据え置きながら今回20%近くもあげたのかなどの質疑も出た。国民健康保険が破たんしないようにと可決したため、ご理解いただきたい。

Q2 政務調査費について、目的、使い道を聞く。

A2 申請する議員1人あたり月3万円の年間36万円支給をされている。それぞれ調査研究のために使用させていただいており、参加費や旅費規程に基づいて報告をさせていただいている。

Q3 政務調査費の使途（使い方）を議会広報誌で、できるだけ詳しく公表していただきたい。

A3 ホームページへ掲載することについては、今後協議をしていき、議会だよりへも掲載する。

八千代地区

- ・とき 7月27日（金）午後7時～9時
- ・会場 八千代地域振興施設フォルテ
- ・参加者 27人

Q1 土師ダム周辺整備事業の基本設計検討委員会での、検討や協議結果、基本実施設計業務の審査方法、結果、選定について

A1 検討委員会は、八千代から5名の人選をし、検討された。採算面から入浴、宿泊施設はなしとし、食堂、宴会施設に限ってすることに決定された。設計業務の審査方法は、3社から提案書の説明があり、事業者との協議で決定した。

Q2 八千代の小学校にはプールができないと説明があり、保護者から要望が出された。議会ではそういうことを認めているのか。

A2 プールができないと言われているが、八千代の場合はB&Gがあり、送迎をしてでも使用してもらおうと教育委員会では決めている。今後の経緯を見守りながら協議を進めたいと考えている。

Q3 国民健康保険の上げ率が高い。反対意見はなかったのか。

A3 国民健康保険税条例改正案には、議員の19人中5名が反対した。



美土里
地区

- ・と き 7月26日（木）午後7時～8時40分
- ・会 場 美土里支所
- ・参加者 29人

Q1 認定こども園を設けて、親の勤労に関係なく就学前の教育が受けられるようにすべきでは。

A1 認定こども園は、幼稚園の機能と保育所の機能を併せ持つ施設で、誰でも入れるメリットがあるが、市としても課題であり、今後の国の動向も注視していきたい。

Q2 新1年生の児童館・放課後児童クラブの入所を申請順でなく、締め切りを設け申請書を精査したうえで入所を決めてほしい。

A2 児童館・放課後児童クラブの入所についても課題として、要望を執行部に伝えていく。

Q3 横田地区の水道整備を早期に実現してほしい。

A3 矢賀地区での500人分の水源確保により認可が下りて24年度は配水施設、取水場、浄化場等の水道施設の実施設計と用地測量を行い、用地取得を進める予定となっている。25年度からは工事に着手し、28年度の給水を目標に進めている。

高宮
地区

- ・と き 7月25日（水）午後7時～8時30分
- ・会 場 高宮田園パラッツォ
- ・参加者 73人

Q1 定例会の一般質問を傍聴したが、休憩時間のあることが不満である。

A1 休憩時間の調整については、神経を使っている。緊張して会議ができる時間も1時間半くらいとされていることから、その間に休憩をとることとしている。

Q2 お太助フォンでは110番、119番につながらないと、説明会で言われたが。

A2 執行部の説明では、現在のシステムではつながらないとのことであった。

Q3 報告会で配布されている説明資料で、各常任委員会の具体的なものを作っていたきたい。

A3 これまでの会場でもそういった要望を伺っている。報告会終了後にまとめを行い、次年度に向けて、指摘の点を配慮して、資料づくりをするよう申し送りたい。

甲田地区

- ・とき 8月7日（火）午後7時～8時45分
- ・会場 甲田支所
- ・参加者 32人

Q1 市民総ヘルパー構想の調査概要は、どこまで報告を受け、どのような意見が出されているのか。

A1 市民総ヘルパー構想は、「生活・介護サポーター養成事業」や「安心生活創造事業」等いろんなことを組み合わせで実施され、健康あきたかた21計画を基に、支え合い助け合う事業を展開されている。議会ではこれらの予算関係について議決してきている。

Q2 国民健康保険税の増額について、3年間据え置いて引き上げたとの説明であったが、もう少し早めに引き上げる率を少なくして財政運営できなかつたのか。

A2 執行部側で、リーマンショック等の影響により国民健康保険税を据え置いてきたが、2年目あたりに、委員会から引き上げるよう指摘すべきであったとの反省はある。

Q3 行政嘱託員や常会を振興会に一本化して、このお金を振興会で活用することができるよう執行部に進言していただきたい。

A3 この甲田地区での報告会では、「地域振興組織及び活動について」をテーマとして提案し、開催している。このことについては、これから地域振興会のあり方も含めて考えていく必要がある。

向原地区

- ・とき 7月24日（火）午後7時～9時
- ・会場 向原公民館
- ・参加者 47人

Q1 戸島付近の既設の主要地方道吉田豊栄線に歩道がない。

A1 これは広島県が実施する事業であるため、議会としても働きかけを続けていく。

Q2 このままの状態ですべて安芸高田市の財政は将来もつのか。

A2 財政健全化計画等によりチェックを行っており、計画は進んでいると考える。安芸高田市がもたなくならないように、市民の声を聞かせていただき、議論を進めていく必要がある。

Q3 向原町生涯学習センターなど整備されるが、箱物が建つと税金や国民健康保険税があがるのか。また、センターの基本設計検討委員会はどこが設置しているのか。

A3 国民健康保険は特別会計であるので関係ない。また、検討委員会は市で設置されている。

視察研修

ごみの減量 ごみ分別で

佐賀県 鳥栖市 / (有)鳥栖環境開発総合センター
熊本県 水俣市 / (株)田中商店水俣営業所
市立水俣病資料館
市環境クリーンセンター
8月2日～3日

(有)鳥栖環境開発
総合センター

〈研修内容〉

- ① 生ごみ・汚泥リサイクル
- ② 廃食用油を利用したバイオディーゼル燃料製造
- ③ 木材チップを処理し水素エネルギーの利用

〈視察後の研修〉

○民間企業であるが、悪臭対策、資源化手法に行政並みの取り組みを実施している。当組合も公共で整備して民間に委託する形が望ましいのではないかと。

○間伐材から水素を取り出すリサイクルを実施していたが、当組合にも工場が大朝地域にあるが、間伐材を運ぶ経費がかかるためにエネルギーとして利用できないので検討が必要。

(株)田中商店

〈研修内容〉

①びんの出し方を6分別にしている。



間伐材利用の水素エネルギー

②びんの資源化を実施。

- ・ガラス工芸品
- ・再生びん工場へ
- ・リサイクル協会へ
- ・歩道材料へ
- ・地産地消を念頭に、Rびん（リユースびん）の導入

〈視察後の研修〉

- 発想の転換による市場開拓で地域雇用を創出する事業を展開している。
- 回収びんからリサイクル工芸品も製作して特産品にしている。当組合も導入の検討が必要である。
- ガラスによる舗装もきれいでよかったが、コスト面の課題があった。
- Rびんは焼酎のびんで製

造会社と販売者、消費者で資源循環型社会の取り組みをしている。

水俣市環境 クリーンセンター

〈研修内容〉

- ①ごみは24分別する。
- ②保育所でごみの分別ゲームをする。

③中学生は放課後ごみ分別に全員参加。

④市民が広報を作成。

〈視察後の研修〉

- 市民が中心となる施策展開で市民とともに環境都市を達成している。
- 家庭ごみを市民が分別して委託業者が収集し、ク



回収びん利用でガラス工芸品



ごみは24分別

リーンセンターで資源物としてストックし、各業者が資源として利用する。
○ごみの分別表がわかりやすくできていた。
○ごみの減量は、女性連絡会議で住民協働で進めている。

組合議会議員

- 藤井 昌之
- 入本 和男
- 青原 敏治
- 秋田 雅朝
- 前川 正昭

月	日	曜日	会議等の名称	会議の主な要旨
7	17・23	火・月	議会改革特別委員会	議会改革の取り組みについて
	7/23~8/7		議会報告会	議員6班で市内6箇所にて開催
8	7	火	議会運営委員会	第3回定例会の運営について
	27	月	総務企画常任委員会	所管事務調査等
	17・27	金・月	議会改革特別委員会	議会改革の取り組みについて
	31	金	葬斎場建設調査特別委員会	安芸高田市葬斎場の管理運営について
9	3	月	議会運営委員会	第3回定例会の運営について
	10	月	第3回定例会（開会）	議案の上程、委員会付託
	11	火	予算常任委員会	付託議案審査10件（一般会計補正予算等）
	12・13	水・木	第3回定例会（一般質問）	質問者13人
	14	金	葬斎場建設調査特別委員会	付託議案審査1件、陳情・要望審査1件
	18	火	総務企画常任委員会	付託議案審査3件、所管事務調査等
	19	水	文教厚生常任委員会	陳情・要望審査2件、所管事務調査等
	20	木	産業建設常任委員会	陳情・要望審査1件、市長報告等
	21・24	金・月	決算常任委員会	23年度会計決算審査13件
	28	金	第3回定例会（閉会）	委員長報告、議案の採決

■24年第4回定例会は12月初旬から下旬の期間で、開催を予定しています。

※ 詳細は、市のホームページや通知公報でお知らせいたします。

総務大臣感謝状受賞 おめでとうございます

かめおか 亀岡 ひとし 等 さん（現市議会議員 美土里町）



昭和48年（1973）から平成5年（1993）、平成9年（1997）から平成16年（2004）の間美土里町議会議員として、同年合併により市議会議員として現在に至る36年間議会議員として在職され、地域の振興と住民自治の向上に貢献されました。

みなさんのおかげと感謝されています。

市町村議会議員感謝状贈呈規程（総務省規程）

市町村議会議員として通算35年以上在職し、地方自治の発展に顕著な功績があったと認められる者
（10月1日基準）

地域のかがやき

吉田 地域活動に積極的に参加



郷野小学校 金管バンドクラブ 9月27日

八千代 酷暑の中の消防訓練



八千代方面隊 8月26日

美土里 みんなでハッスル!!



第30回町老連スポーツ大会 10月19日

高宮 中学生によるパフォーマンス



第30回たかみや大地の祭り 10月21日

甲田 めざそう交通事故ゼロ



秋の全国交通安全テント村 9月27日

向原 力作



巨大アートに笑顔が集う

編集後記

市議会議員改選時期まで、あとわずかとなり、広報特別委員の現メンバーによる議会だよりの発行は、今回で最後です。

誰もが見やすい、わかりやすい広報紙を目指し、第29号より、安芸高田市の宝物である『子どもたちの動き』を題材にして表紙を飾り、また、写真の角をとる技法やタイトルを短冊にし、そして、特集として議会改革シリーズの掲載など市民の皆様に関心を引く創意工夫をしました。

記事内容においては、専門語を控え、皆様にわかりやすいように要点をとらえ簡素化し、注釈を付けるなど配慮し、議会活動の正確な情報の提供を心がけました。

読者の皆様、ありがとうございました。

(石飛 慶久)

〈発行責任者〉

議長 藤井 昌之

〈議会広報特別委員会〉

委員長 穴戸 邦夫

副委員長 石飛 慶久

委員 前重 昌敬

委員 水戸 眞悟

委員 山本 優

委員 亀岡 等